



鉄道駅バリアフリー料金制度に関する バリアフリー設備の整備進捗状況について

JR 西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける 安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取組みを進め ております。

2023 年 4 月 1 日から京阪神地区の整備対象エリアにおいて、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、お客様のご理解とご協力をいただきながら、バリアフリー設備の整備を加速してまいります。

このたび、国土交通省近畿運輸局へ報告した 2021 年度、2022 年度の進捗状況について、 お知らせします。

1. バリアフリー設備の整備進捗状況

(1) 設置・改良費

	人以貝				
	整備数	整備駅名	(のりば)		
設備名	(整備中お よび完了)	整備中整備完了		設置・改良費※2	計画進捗率*3
2021 年度	,				
ホーム柵	0.50	三ノ宮(1・4)、	_	650 T.T.F.	00/
	2駅 3番線	大阪(21)		652 百万円	0%
2022 年度				<u> </u>	
		三ノ宮(1)、			
+ / t m		弁天町(1・2)、	三ノ宮(4)、		
ホーム柵	5駅 11番	西九条(1~4)、	大阪(21)		11%
	線	天王寺(11・14)		1,510 百万円	(2/19番線)
ホーム安全			茨木(2・3)、		4%
スクリーン	2駅 6番線		放出(1~4)	153 百万円	(6/142番線)

- ※1 エレベーター、エスカレーター、段差隙間縮小に資する設備の当該年度の整備はありません
- ※2 整備中および整備完了の設備に対して発生した費用を示します
- ※3 計画期間(2021~2025年度)における整備計画数に対する進捗率(整備完了)を示します

(2) 更新費

2021 年度、2022 年度における対象設備の更新はありません。

(3)維持管理費・収受システム改修費・その他費用(駅務機器改修費・駅頭表示改修費等)

纵共	2021	837 百万円
維持管理費	2022	859 百万円
収受システム改修費	2022	10 百万円
その他費用	2022	7 百万円

(4) 当該年度の料金収受額

当該年度(2021、2022年度)における料金収受はございません。

2023 年 4 月 1 日から収受させていただいている加算料金について、当該年度における整備費に充当いたします。

「参考]

○鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備

JR 西日本では、2023 年 4 月 1 日から近畿エリアの一部エリア(図 1)において料金を収受させていただき、バリアフリー設備(ホーム柵・ホーム安全スクリーン・エレベータ等)の整備を加速してまいります。

なお、ホーム柵・ホーム安全スクリーンの整備については、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画 2027」の 2027 年度の到達目標として着実に進めることで、ホームからの転落による列車とお客様の接触事故の防止を図ってまいります。

ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

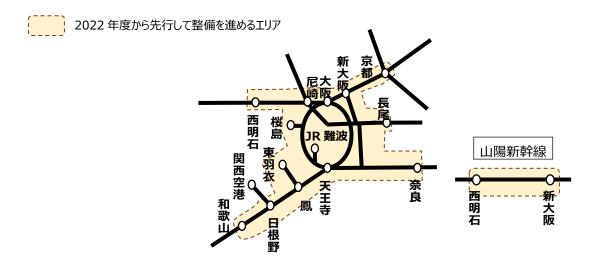


図1 整備対象エリア

[参考] 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備 (2022 年 8 月 19 日ニュースリリース)

https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page_20617.html

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 9 番、10 番、11 番に 貢献するものと考えています。







鉄軌道事業者名	西日本旅客鉄道株式会社
本年度整備費	1,489 百万円

整備完了実績(設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの)				
設備名	整体		駅名	
ホーム柵	0 駅	0 番線		
エレベーター	0 駅	0 基		
エスカレーター	0 駅	0 基		
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線		
ホーム安全スクリーン	0 駅	0 番線		
備考				

- ※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。
- ※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		0 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅	
F文左片 / 月 / (女)	二経路以上確保駅	0 駅	

本年度徴収額			0 百万円	
(内訳)				
	定期外(普	通券など)	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)		0	(0
備考				

本年度までの累計整備費	1,489 百万円
本年度までの累計徴収額	0 百万円

鉄軌道事業者名	西日本旅客鉄道株式会社
本年度整備費	2,539 百万円

整備完了実績(設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの)					
設備名		整備数		駅名	
ホーム柵		2 駅	2 番線	三ノ宮、大阪	
エレベーター		0 駅	0 基		
エスカレーター		0 駅	0 基		
段差隙間縮小に資する設備		0 駅	0 番線		
ホーム安全スクリーン		2 駅	6 番線	茨木、放出	
備考					

- ※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。
- ※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		2 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅	
F又 <i>左</i> 州• / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	二経路以上確保駅	0 駅	

本年度徴収額			0 百万円	
(内訳)				
	定期外(普	通券など)	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	0		0	0
備考				

本年度までの累計整備費	4,028 百万円
本年度までの累計徴収額	0 百万円

整備実績					
(1)設置•改良費					
設備名	整備数		整備駅名	整備費	
ホーム柵	2 駅 3 番線		三ノ宮(新規)、 大阪(新規)	652 百万円	
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円	
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円	
段差隙間縮小	0 駅	0 番線		0 百万円	
ホーム安全スクリーン	0 駅	0 番線		0 百万円	
備考					
(2)更新費					
設備名	整備数		整備駅名	整備費	
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円	
備考					
(3)維持管理費・収受システム改修費・その他費用(駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)					
維持管理費		837 百万円			
収受システム改修費		0 百万円			
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		0 百万円			
備考	備考 維持管理費は、エレベーター、エスカレーター、ホーム柵の維持管理に要した費用を示す。				

[※]整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

[※]設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

整備実績	整備実績				
(1)設置·改良費					
設備名	整備数		整備駅名	整備費	
ホーム柵	5 駅	11 番線	三J宮(継続)、大阪(継続)、弁天町(新規)、西九条(新規)、天王寺(新規)	1,510 百万円	
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円	
エスカレーター	O 駅	0 基		0 百万円	
段差隙間縮小	0 駅	0 番線		0 百万円	
ホーム安全スクリーン	2 駅	6 番線	茨木(新規)、放出(新規)	153 百万円	
備考					
(2)更新費					
設備名	整備数		整備駅名	整備費	
エレベーター	O 駅	0 基		0 百万円	
備考					
(3)維持管理費・収受システム改修費・その他費用(駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)					
維持管理費		859 百万円			
収受システム改	7修費	10 百万円			
その他費月 (駅務機器改修費・駅頭表表		7 百万円			
備考	備考 維持管理費は、エレベーター、エスカレーター、ホーム柵の維持管理に要した費用を示す。				

- ※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。
- ※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況(2025年度までの計画)

年度	ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	O駅	0%	O馬R	0%
2022年度	2番線	11%	O駅	0%	O駅	0%
2023年度	1 番線	16%	O駅	0%	O駅	0%
2024年度	6 番線	47%	O駅	0%	O駅	0%
2025年度	10番線	100%	O駅	0%	O駅	0%
累計	19番線	100%	O駅	-	O馬R	-

[※]計画進捗率は、計画期間における設置番線数(段差解消駅数)の累計/計画期間における設置番線数(段差解消駅数)により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況(2026年度以降の計画)

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	6番線	33%	O駅	0%	O駅R	0%
2027年度	12番線	100%	1駅	100%	1駅	100%
累計	18番線	100%	1駅	100%	1駅	100%

[※]計画進捗率は、計画期間における設置番線数(段差解消駅数)の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細(随意契約を実施した場合のみ記載)

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
西九条駅(1・2・3・4番線)外ホーム柵新設に伴う詳細設計 ※弁天町1・2番線含む	ホーム上での調査・測量作業においては、営業線近接工事を取り扱う資格を有し、かつ、弊社仕様のホーム柵設計技術を有している設計会社による設計が必要なため	過去の実績等を基に基準価格を設定し、適正な価格協議を実施	59 百万円
天王寺駅(11・14番線)ホーム柵新設に伴う詳細設計	ホーム上での調査・測量作業においては、営業線近接工事を取り扱う資格を有し、かつ、弊社仕様のホーム柵設計技術を有している設計会社による設計が必要なため	過去の実績等を基に基準価格を設定し、適正な価格協議を実施	11 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

[※]事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。